



AIMC

経理部門向けサービス



AIMCは、決算の早期化、経理業務の標準化、間接コストの削減支援等を通じて、バックオフィスである経理部門様の支援を1つの柱として活動しております。経理業務のみならず、単体・連結会計システムや組織体制に関しても、お客様の課題を1つ1つ丁寧に解決し、ムリ・ムダのないスムーズな経理業務体制の構築を総合的に支援いたします。

経理業務の 落とし穴 **こんな事はありませんか？**

**休日出勤や残業を使っているが、
決算短信の開示が期限ぎりぎりとなってしまう。**

休日出勤や残業で対応しているにも関わらず、決算短信の開示が45日の期限ぎりぎりとなり、早期化が進んでいない企業が見受けられます。

**間接コストの削減を命じられたが、
どこにムダがあるのか分からない。**

業務プロセスのムダを見つけるには、全ての業務(活動)の把握とコストの算定が必要です。闇室に対策を行っても効果は出ません。

**会計システムの保守サポート期限が迫り、
継続かリプレースか判断に迷っている。**

既存システムの継続か、それともリプレースかの判断が必要となりますが、判断を誤ると追加コストや業務の混乱を招きます。

**一部の担当者だけがいつも忙しく、
作業負荷が集中している。**

経理業務は、経験豊富な担当者に負荷が集中しがちです。負荷を分散するためにも、誰にでもできるように業務を作り上げていく必要があります。

**IFRSの導入を検討しているが、
何から手をつければ良いか判断できない。**

会計方針の作成、担当者の教育、システム対応、そして業務の設計等、着手すべき作業は多いですが、全てを同時に進めることはできません。

**手順書やマニュアルが古くなり、
仕事がどのように行われているか分からない。**

時間と共に業務内容も変わっていきます。手順書やマニュアルは定期的に更新しなければなりません。なかなか手をつけられないのが現状です。

経理部門の業務を**効率的**にするためには！

1

やるべきことは

経理部門様はコストセンターである以上、コストを最小に抑える必要があります。何も対策を立てずにいると、担当者や残業時間の増加等、コストは膨らむばかりです。コスト削減のためには、業務の見える化を行い、問題点の発見と適切な対策を実行しなければなりません。また、手順書やマニュアルは定期的に見直し、業務が見える状態に保つことが重要です。

2

現実には

業務改善を継続的に進めている企業は少なく、多くの企業は決算と決算の合間に時間を取って進めています。決算期の合間に対応するとなると、業務改善に充てる時間は少なく、また断片的な活動となってしまいますので、なかなか改善が進まないがよく耳にします。また、業務改善を進めてはみたものの、効果が出ずに結局は止めてしまうケースもあります。

3

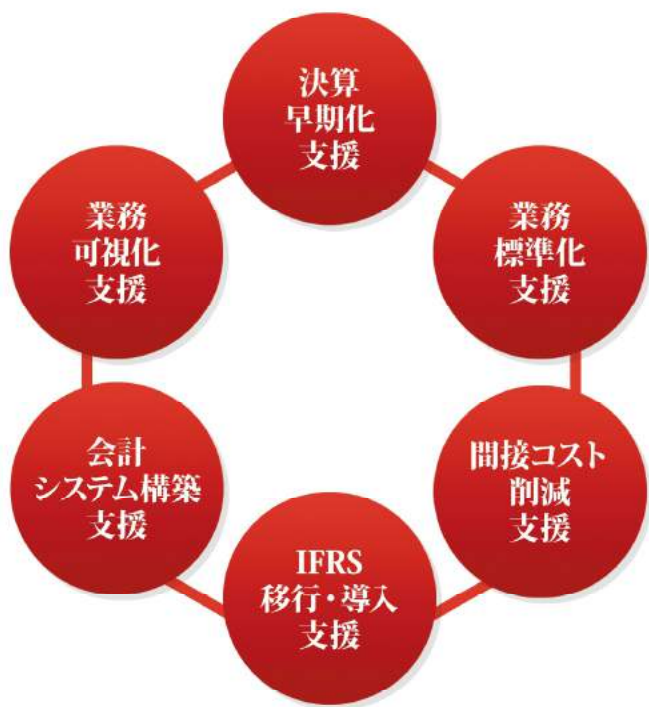
専門のコンサルティングサービス

AIMCは、決算の早期化、業務の標準化、間接コストの削減支援等、様々なサービスによりお客様を支援し、長年にわたってノウハウを蓄積してまいりました。また、陸運業、製造業、エンターテインメント業、製薬業等、多岐にわたる事業の経理業務に携わってまいりましたので、お客様の業務形態に合わせた最適な改善プランを策定・提案することができます。



エイアイエムコンサルティング株式会社 〒105-0001 東京都港区虎ノ門5-12-13 大手町建物神谷町ビル6階
TEL:03-5405-2311 URL: <http://www.aimc.co.jp> お問い合わせ E-Mail: aimc-sales@aimc.co.jp

AIMC 経理部門向けサービス



決算早期化支援

決算作業の無駄を排除してスリム化し、決算期日の短縮・早期化を支援します。

業務標準化支援

業務プロセス、業務スキルおよび組織体制の標準化を構築・支援します。

間接コスト削減支援

ABC・ABMの概念を利用して、非効率な業務を排除し、間接コストの削減を支援します。

IFRS移行・導入支援

IFRSの移行・導入について、業務・システム・教育の側面から全面的に支援します。

会計システム構築支援

単体会計および連結会計に関するシステムの課題分析、選定、導入、運用を支援します。

業務可視化支援

経理業務をマニュアル・文書化することにより、業務の見える化を支援します。

※ABC (Activity Based Costing) : 活動基準原価計算

※ABM (Activity Based Management) : 活動基準管理

※IFRS (International Financial Reporting Standards) : 国際財務報告基準

事例紹介

1 陸運業様

決算早期化支援

決算の開示目標を30日とし、現状45日を費やしている決算の早期化を実施。人力負荷の分散や軽減、月末締め作業の前倒しに加え、重複作業の低減により標準化・効率化を図り、翌月内開示を達成した。

2 陸運業様

業務標準化支援

属人化した業務を誰でも同じ品質で行えるように業務標準化に着手。日次、月次、四半期、年次サイクルごとに業務内容を見直し、標準業務のみならず、標準業務に合わせた組織体制を確立した。

お客様の声

陸運業様

決算早期化支援

決算発表が遅く、また決算作業の負荷も高く、とても困っていました。改善の必要性は誰もが考えていましたが、何をしたらよいのか分からなかったため、AIMCに相談しました。決算早期化という目標の下、内在していた業務課題やシステム課題を1つ1つ丁寧に対応していただいたため、決算日程を16日間も短縮して翌月内開示を実現できただけでなく、個社決算における残業時間を60%も削減することが可能となりました。